

飲酒運転を撲滅しよう!

お酒を飲んだ状態での安全運転は絶対に不可能です!なぜなら…

①危険を見落としやすくなる…

ビール1缶(350ml)で、「動体視力」が半分に低下!

②反応が鈍くなる…

ワイングラス1杯(200ml)で、「反応時間」は1.5倍に!

③操作ミスをしやすくなる…

ビール2缶(700ml)で、誤操作の確立が大きく上昇!

④さめたつもりが、実はまださめていない…

ビール500mlでも、さめるまでに4時間ほど必要!



飲酒運転事故の実態

酩酊ではない比較的「軽い酔い」の状態
で運転して事故を起こしたケースがほとんど!

5月は「自転車マナーアップ強化月間」です!

スローガン

『身につけよう 交通ルールと ヘルメット』

■ヘルメットの着用

自転車乗車中の死者の人身損傷主部位(致命傷の部位)は、頭部損傷によるものが多くなっています。自転車乗車中の乗車用ヘルメット非着用時の致死率は、着用時と比べて高くなっており、頭部損傷が重大な事故に繋がることが確認されています。大人も子供もヘルメットの着用に努めてください。

「ながら運転」はダメ!

危険を見落とす
かもしれません。



■自転車保険

自転車乗用中に事故を起こして万が一「加害者」になった場合、高額な損害賠償金の支払いを命じられるケースもあります。いざという時のために自転車保険に加入しましょう。

「ならんで走る」のはダメ!



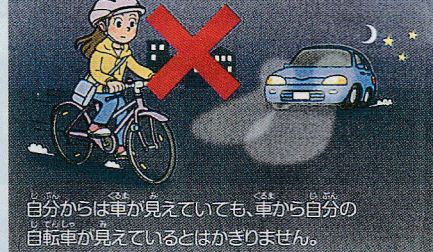
人や車の
通行の
邪魔に
なります。

「二人乗り」はダメ!



フラフラして危険です。

「夜、ライトをつけない」のはダメ!



自分からは車が見えていても、車から自分の
自転車が見えていないとはかぎりません。

※自転車も車と同じ交通ルールを守る義務があります